

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
建築環境学		寺島 貴根	講義	2	建築士	1, 2	3	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	都市や建築において、快適な居住空間を実現するための計画法の概要を修得することが本講義の目的である。室内空間および都市空間における音・光・熱・空気および水分の制御に関する基礎理論とその建築・都市設計への応用の概要を学習する。教科書の内容に従い、スライドを併用して講義が進められる。							
到達目標	①音響・照明・換気・断熱などの室内環境を制御する基本原理を理解する。 ②初歩的な室内環境の設計課題に対する解決方法を身につける。							
回	学習内容							
1	講義ガイダンス：快適な室内環境の構築							
2	騒音防止と音響設計①（音の物理、聴覚）							
3	騒音防止と音響設計②（騒音制御、サウンドスケープ）							
4	騒音防止と音響設計③（建築音響設計、吸音）							
5	日照と日射（太陽と地球、日影曲線）							
6	採光と照明①（視覚、直接照度の計算、昼光率）							
7	採光と照明②（光束法による照明設計、人工光源）							
8	建築の色彩計画（表色系、色彩の調和）							
9	室内空気汚染と換気①（室内空気環境基準、シックハウス）							
10	室内空気汚染と換気②（自然換気と機械換気）							
11	室内空気汚染と換気③（換気量の計算）							
12	断熱と結露防止①（伝熱の基礎、熱の物性）							
13	断熱と結露防止②（貫流熱の計算、断熱）							
14	断熱と結露防止③（露点温度、結露防止、体感温度）							
15	筆記試験の実施と解答の解説							
予習内容 復習内容	予習：教科書の該当箇所に目を通す。 復習：教科書の該当箇所を振り返り、配布資料への書き込み内容やノートを整理する。							
教科書	基礎力が身につく建築環境工学（三浦昌生著、森北出版、ISBN978-4-627-58112-8）							
成績評価	成績評価は試験を含む全講義回数 15 回のうち 10 回以上出席した受講者に対して行う。出席確認を兼ねて提出するミニッツペーパーの内容と筆記試験の結果によって、各受講者の目標達成度を判断し成績評価および単位認定を行う。評価におけるそれぞれのウェイトは、ミニッツペーパーが 40%、筆記試験が 60%である。							
実務経験								
その他 特記事項	開講までに必ず教科書を購入してから受講すること。室内環境の物理と心理に関する理論および計算が含まれる理系の内容であるが、今後建築に携わっていく者には必須の知識や考え方である。将来建築士試験を受験する予定の者には受講を勧める。							